

平成30年度 石神第二小学校学校経営グランドデザイン



《めざす児童の姿》

- 話を正しく聞き取り、思いや考えを進んで表現できる。
- 学習したことが身につく、活用できる。
- 気持ちを込めてあいさつし、正しい言葉遣いができる。
- 友達と協力して活動し、みんなのために行動できる。
- 進んで体力を高め、安全に気をつけて生活できる。

《めざす教師の姿》

- 教育に意欲・使命感を持ち、教育の充実に努める。
- 児童のよさを認め、児童の意欲を喚起させる
- わかる授業をめざし、日々の研修に励む。
- 保護者、地域の人々との連携を図り、信頼される。

<教育目標>

- 進んで学ぶ子ども
- 明るく思いやりのある子ども
- 最後までがんばる子ども
- 健康で元気な子ども

<重点目標>

しっかり聞いて
しっかり伝えよう

夢に向かって、
チャンス・チャレンジ・チェンジ

<心に持とう 3つの気>
やる気・本気・元気

《学校経営の方針》

- ◎「学校の主体は児童である」…全ての児童が生き生きと活動し、主体的に学ぶことができる学校をめざす。
夢に向かって、チャンス・チャレンジ・チェンジ
- 共に学び、共に育ち、共に生きる学校
・学ぶ、できた、分かったことの楽しさが味わえる。
・役割と責任を持ち、みんなのために活動する。
- 学びがいのある学校
・学習の仕方を知り、学んだことを活用して学習を進める。
- 楽しい学校学校
・児童相互、児童と教職員との信頼関係を構築する。
- 地域に誇れる学校、地域が誇れる学校
・保護者、地域との連携を密にし、相互の理解を深める。

実践事項

I 学力の向上

- よく考えて言葉で伝える
- 分かる授業への改善

- 1 基礎基本を明確にして指導し、基礎学力を定着させます。
(授業スタンダードの活用、国語・算数の単元テスト80点以上)
- 2 少人数教育のよさを生かした授業を行います。
- 3 話し合い・学び合いを通じ、児童相互に啓発する授業を行います。
- 4 根拠を明確にして書く学習活動を重点的に指導します。
- 5 適用とまとめの時間を確保します。
- 6 「分かった」「できた」という達成感を大切にして授業を展開します。
- 7 学習活動の中で、考えや疑問をきちんと伝え合う活動を大切に、理解を深めたり技能を高めたりする指導を行います。
- 8 家庭学習の習慣化を図り、個に応じた自主学習を推進し、学習物は確認して返します。(家庭学習スタンダードの活用)

IV 学校を開く(家庭・地域との連携)

- 1 学年(学級)で保護者が来校しやすい機会と雰囲気をつくります。
- 2 各種通信、ホームページ等の活用により、学校・学年・学級の取組みを積極的に発信します。
- 3 「家庭読書の日」を設け、読書活動を進めます。(毎月、第3日曜)
- 4 司書や図書館ボランティアの協力を得て、読書環境を向上させます。
- 5 児童や保護者による学校評価を実施・公表し、学校評議員や地域の意見を集約して学校改善に生かします。
- 6 伝統文化の学習や体験活動に、外部講師を活用します。
- 7 「ふくしま教育週間」に合わせ、教育活動を地域に開きます。
- 8 外部関係機関との連携を図った教育活動を推進します。

II 豊かな人間性・社会性の育成

- 温かい言葉を遣う
- みんなのために活動する

互いに認め、高めあう学級づくり

- ◎ 1 道徳の時間の指導の充実を図ります。
(重点内容「不とう不屈」「生命尊重」「郷土愛」の育成)
- ◎ 2 「いしがみのよい子」の指導により、よりよい生活習慣を身につけさせます。
- ◎ 3 相手や場に応じた話し方(呼び方、あいさつ、丁寧な言葉遣い)の指導をします。
- ◎ 4 相手の話を最後までしっかり聞き、自分の考えをしっかりと話す態度を身につけさせます。
- ◎ 5 「言われていやなこと」「されていやなこと」はしないという指導を徹底します。(いじめは許しません)
- 6 一人一人のよさを認め合い、ともに成長できる学級づくりをします。
- 7 奉仕活動に積極的に取り組めるよう、年間を通して意図的・計画的な指導をします。
- 8 キャリア教育(『生きる力』の育成)の意識を持って将来の心豊かでたくましい自立の基礎づくりに努めます。

III 体力向上と保健安全

- よく運動し、健康で安全に過ごす
- 命を大切にする自覚と態度の育成

- ◎ 1 体育の授業で運動量を確保し、体力向上の指導をします。
- ◎ 2 「運動身体づくりプログラム」で「動く体」「動きたい体」を育てます。
- 3 健康な身体づくりのため、自分手帳を有効に活用します。
- ◎ 4 食の指導を継続的にいきます。(栄養技師とのTT授業、給食の時間)
- ◎ 5 早寝・早起き・朝ご飯の生活リズムづくりの指導をします。
(TV・ゲーム2時間以内、朝食摂取率100%)
- 6 安全対策の見直しを行い、様々な危険に対し、安全な行動ができるよう危険を予知する力、回避する力を身につける指導をします。
- 7 放射線教育、防災訓練を年間計画に位置づけて確実に実施します。

V 特別支援教育

- ◎ 1 児童一人一人を大切に、ニーズにあった対応をします。
- 2 全校生に対し、「共に学ぶ」ことを大切に、温かな態度で接するように指導します。
- ◎ 3 集団生活経験や互いの社会性を育てる大切な機会として、通常学級と支援学級の交流を進めます。
- ◎ 4 通常学級のLD、ADHD児等の指導を、「個別の指導計画」をもとに進めます。
- 5 適切な就学指導(在学児童、新入学児童)のために、コーディネーターを中心とした就学指導委員会を機能させます。
- 6 通級学級児童に対し、適切な指導と支援をします。